

【簡易マニュアル】

WebViewer 基本操作ガイド

対応機種：XRN-420S/426S-1T/820S/1620SB1/3210B4/3210RB2/6410DB4
HRX-435L/1634/1635 等

作成日：2022/10/4

更新日：2023/3/31

目次

- ・ ログイン方法 … P3
- ・ ライブモニタリング画面① 主な機能解説 … P4
- ・ ライブモニタリング画面② レイアウト作成 … P5
- ・ 録画再生① 時間検索と主な項目解説 … P6
- ・ 録画再生② イベント検索と主な項目解説 … P8
- ・ バックアップ方法 ①通常バックアップ … P10
- ・ バックアップ方法 ②イベントバックアップ … P12
- ・ 再起動・シャットダウン … P13

1. ログイン方法

※本マニュアル対応機種(XRN-420S/426S-1T/820S/1620SB1/3210B4/3210RB2/6410DB4、HRX-435L/1634/1635)は、Internet Explorer非対応です。対応ブラウザであるEdge/Chrome/Safariをご利用ください。

1. ブラウザを開き、アドレスバーにレコーダーのURLを入力し、接続して下さい。

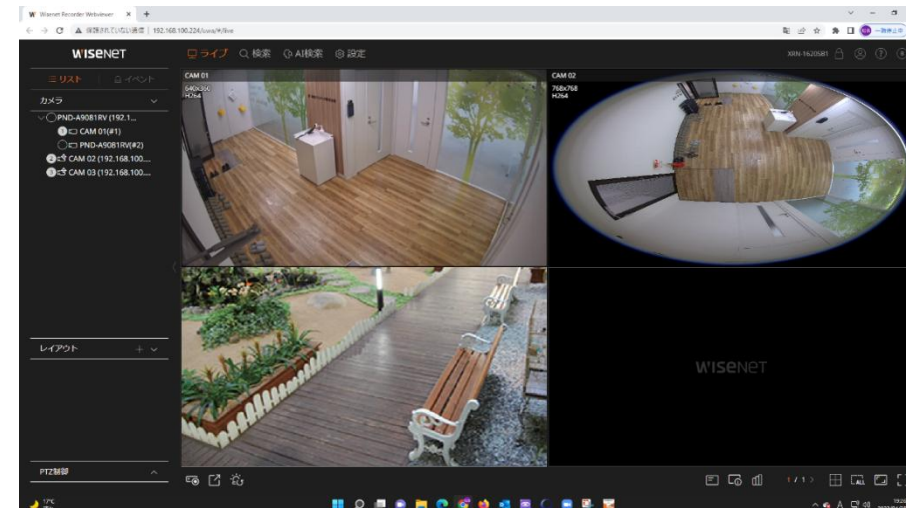


レコーダーにローカルネットワーク上から接続する場合は、
「<http://<IPアドレス>:<レコーダーのHTTPポート>>」を入力します。
(例) <http://192.168.1.200>

レコーダーに遠隔接続 (DDNS) する場合は、
「<https://ddns.hanwha-security.com/<DDNS ID>>」を入力します。
(例) <https://ddns.Hanwha-security.com/ddnstest>

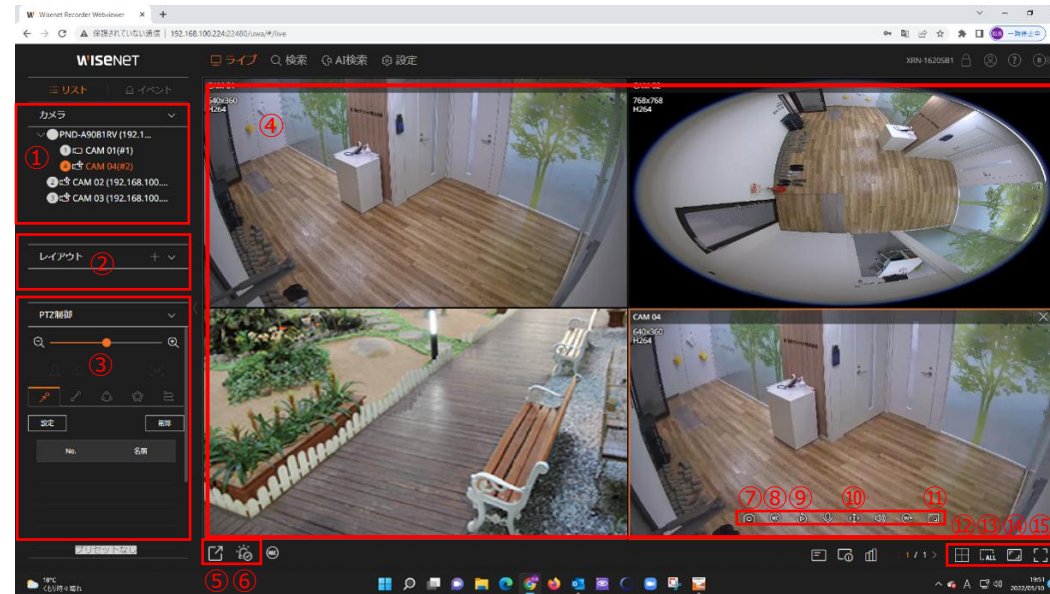
2. レコーダーのユーザー名とパスワードを入力して、ログインをクリックして下さい。


3. ログイン完了すると、ライブ画面が表示されます。



2. ライブモニタリング画面①



■ ライブ画面の主な項目について

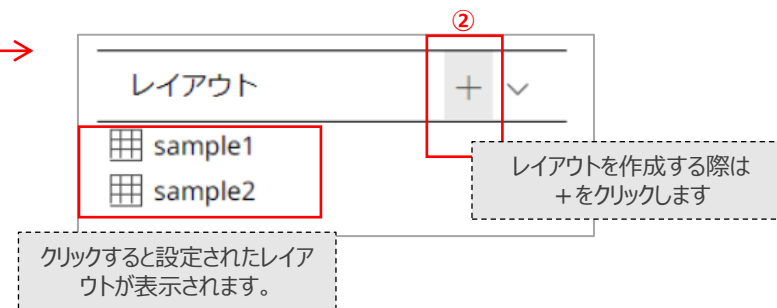
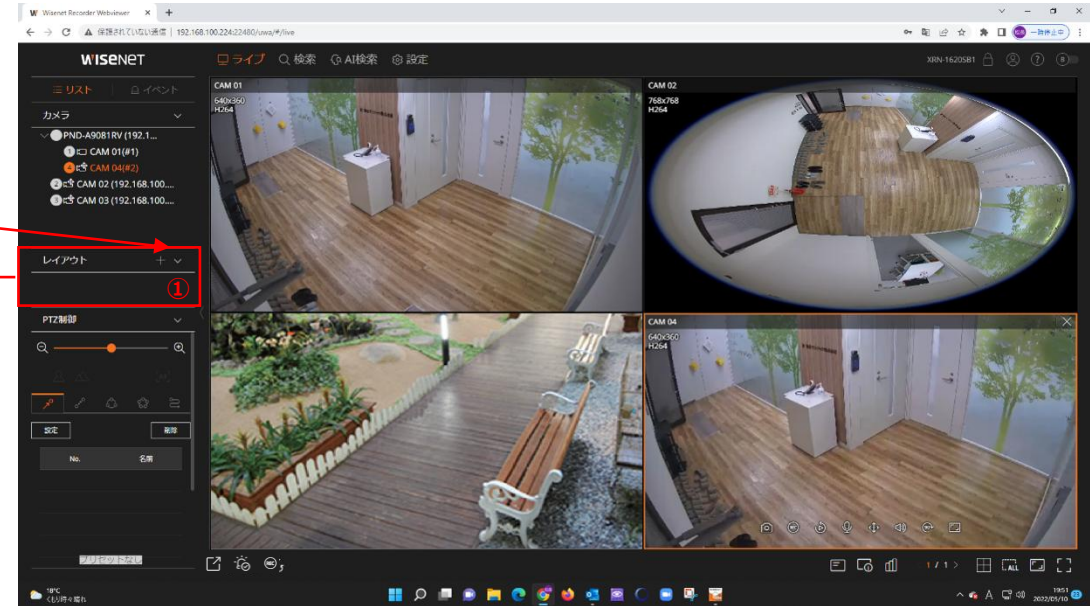


	項目	解説
①	カメラリスト	接続済みのカメラのリストを表示します。カメラタイトル(④)上で選択しているカメラのタイトル枠がオレンジ色で表されます。
②	レイアウト	カメラレイアウトを作成し、お気に入りのカメラ配置を作成保存、または表示することができます
③	PTZ制御	PTZ制御機能を使用し、カメラの向きを変えたり、ズーム倍率を調整することができます
④	映像ウィンドウ	カメラの映像を表示します。映像をダブルクリックし、単画面と分割画面を切り替えることができます。
⑤	エクスポートボタン	録画映像をバックアップすることができます。
⑥	アラームオフボタン	レコーダーでアラーム音を出力している際に停止することができます。
⑦	キャプチャボタン	カメラ画像を静止画で保存することができます。
⑧	ローカル録画ボタン	ライブ映像をPCに動画で保存することができます。
⑨	インスタント再生ボタン	1分前のカメラ映像を再生できます。
⑩	PTZ制御ボタン	選択したカメラのPTZモード(画面←のメニューリストにPTZ制御が出ます)
⑪	チャンネルアスペクト比ボタン	選択したカメラの映像比率(アスペクト比)を切り替えます。
⑫	分割モードボタン	ライブ映像の分割表示を切り替えることができます。
⑬	映像消去ボタン	現在表示している全てのカメラ映像を画面から消すことができます。 ※本ボタンを押しても、カメラの登録が消えたり、録画映像が削除されることはありません。
⑭	全体アスペクト比ボタン	全てのカメラの映像比率(アスペクト比)を切り替えます
⑮	全画面表示ボタン	現在見ている画面を全画面表示します。戻る際はESCを押すか、縮小ボタン  を押して下さい。 ※全画面表示をすると、画面左のメニューは消えます。再度表示させるには、全画面表示を終了後、画面左の>をクリックします。

2. ライブモニタリング画面②

■ レイアウト作成について

1. 画面左メニューの「レイアウト」の  マークをクリックすると、既に作成されているレイアウトのリストが表示されます。
2. レイアウトを新規作成するには、+ をクリックします。
3. + をクリックすると、現在のレイアウトが一度リセットされると同時に、リストに新たなレイアウトが加わりますので、名前を設定します。
4. 画面右下の分割モードボタンで分割数の設定をします。
5. カメラリストから、表示したいカメラをダブルクリックで選択・表示します。
※各カメラの表示位置は、ドラッグ&ドロップで変更できます。
6. 「レイアウト」メニューの保存ボタン  クリックでレイアウトを保存します。

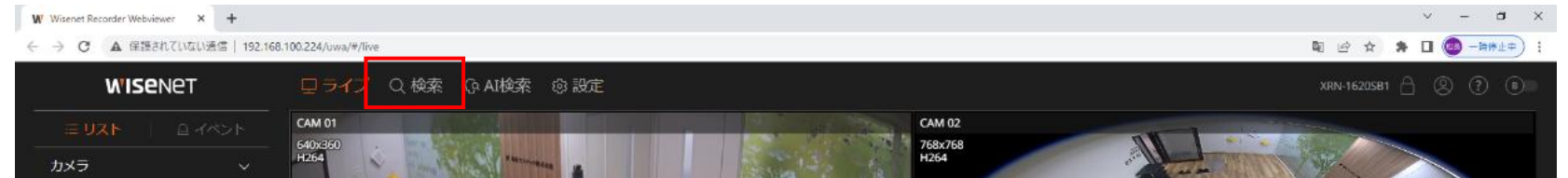


<<注意>>

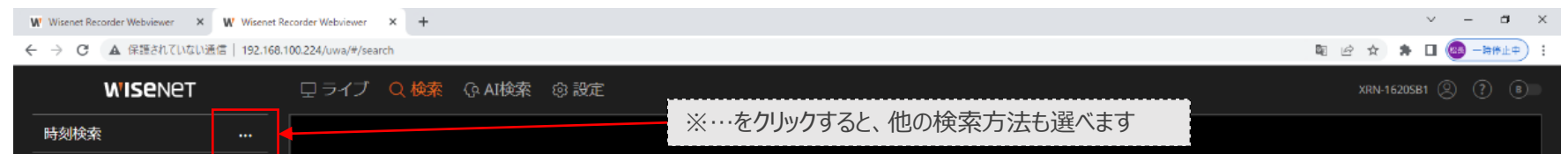
「ストレージデバイス装置でメニューが使用されています」というメッセージが表示された場合は、レコーダー本体画面をライブモニタリング画面にしてからレイアウト作成をお試し下さい。

3. 録画再生①—時間検索方法

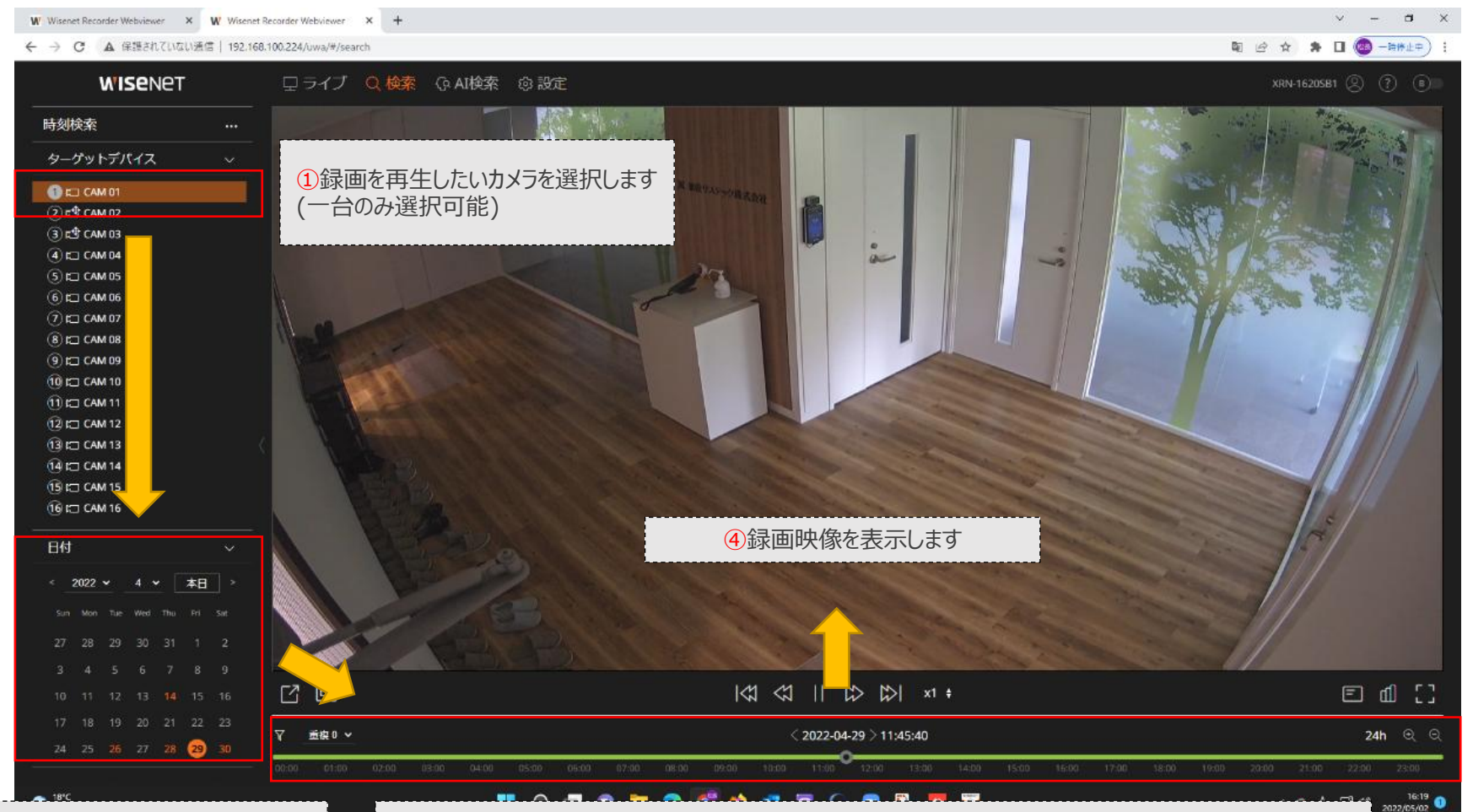
1. 「🔍検索」をクリックします。



2. 「時間検索」画面がデフォルトで表示されます。



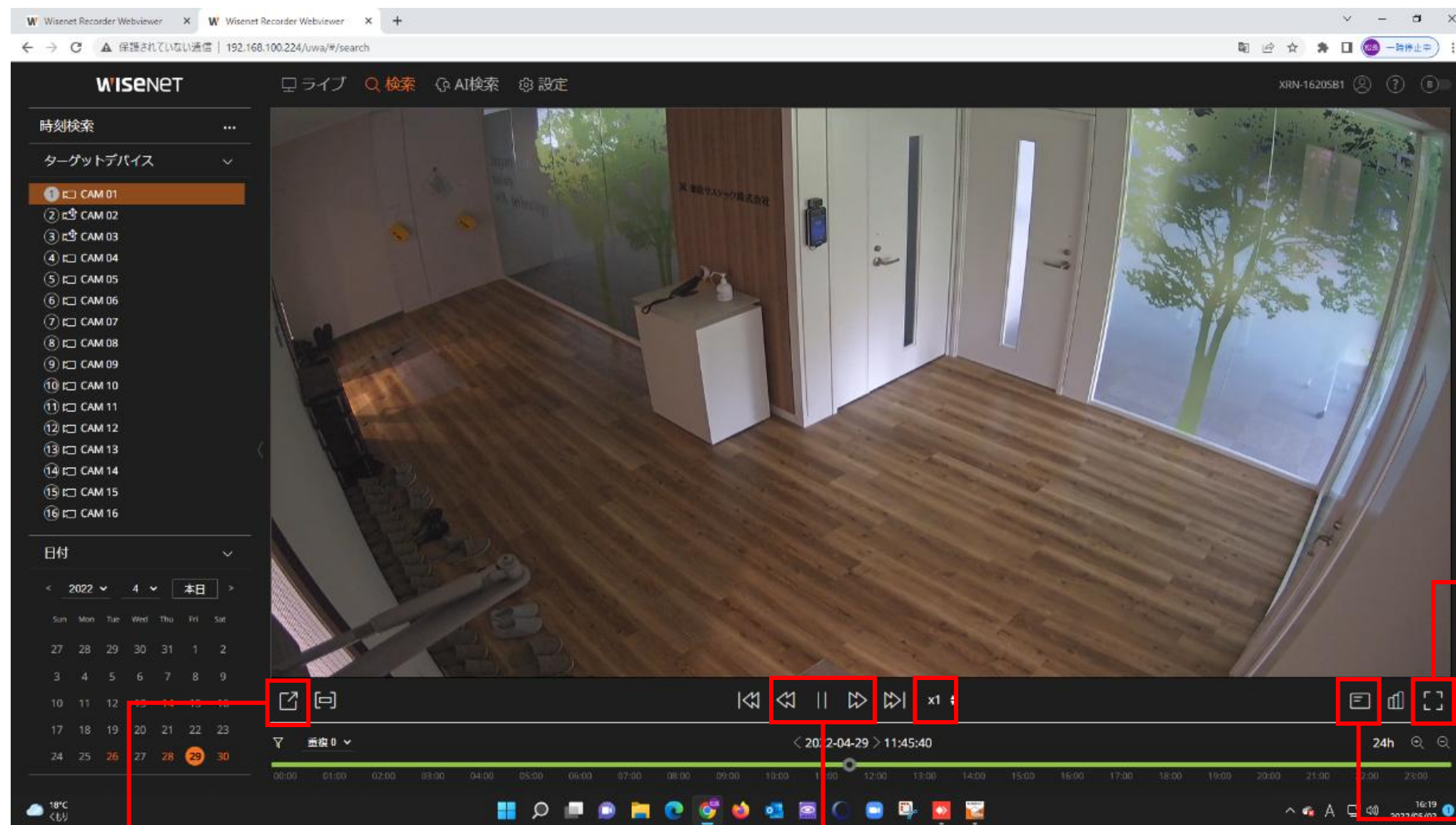
3. ①カメラ番号→②日付→③時刻を選択すると指定した時刻の録画映像を読み込みます。
※ネットワーク経由の読み込みとなりますため、通信環境により、読み込みまで時間がかかる場合がございます。



②日付を選択します(録画が残っている日はオレンジ色表示になります)

③時刻を選択します(時刻部をクリックして選択するか、検索バー(緑色)の○をスライドさせると選択可)

3. 録画再生①—時間検索画面の主な項目について



全画面表示

エクスポートボタン
(映像をバックアップする際に選択)

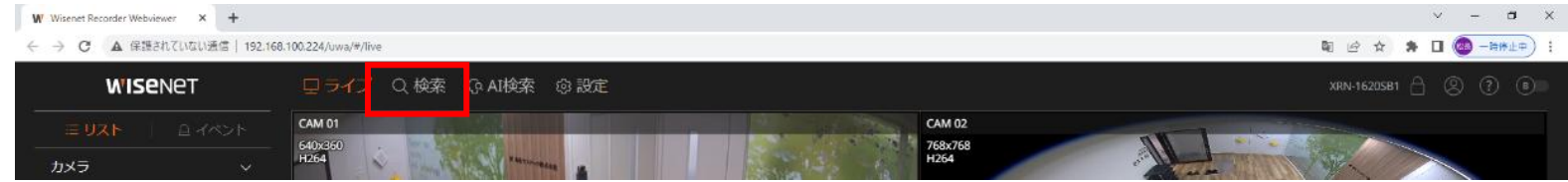
再生制御ボタン
(左から"巻き戻し""再生/一時停止""早送り" を表します)

OSD表示/非表示

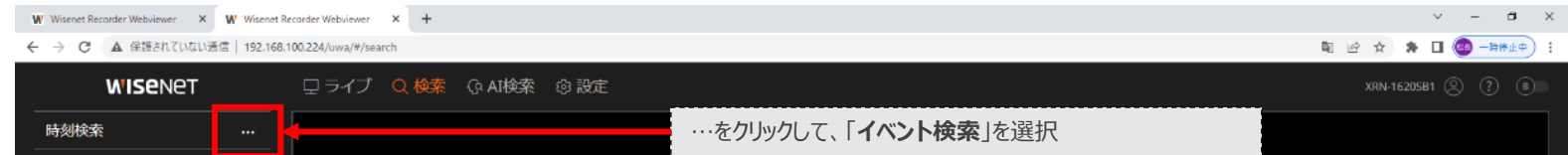
倍速選択
(早送り/巻き戻し時の倍速を選びます)

3. 録画再生②ーイベント検索

1. 「🔍 検索」をクリックします。



2. 「…」をクリックし、「イベント検索」を選択します。



3. ①検索したいチャンネルを選択します。
(複数選択可能)
②検索したい期間を設定します。
③「検索」をクリックで、該当する
イベントリストが表示されます。

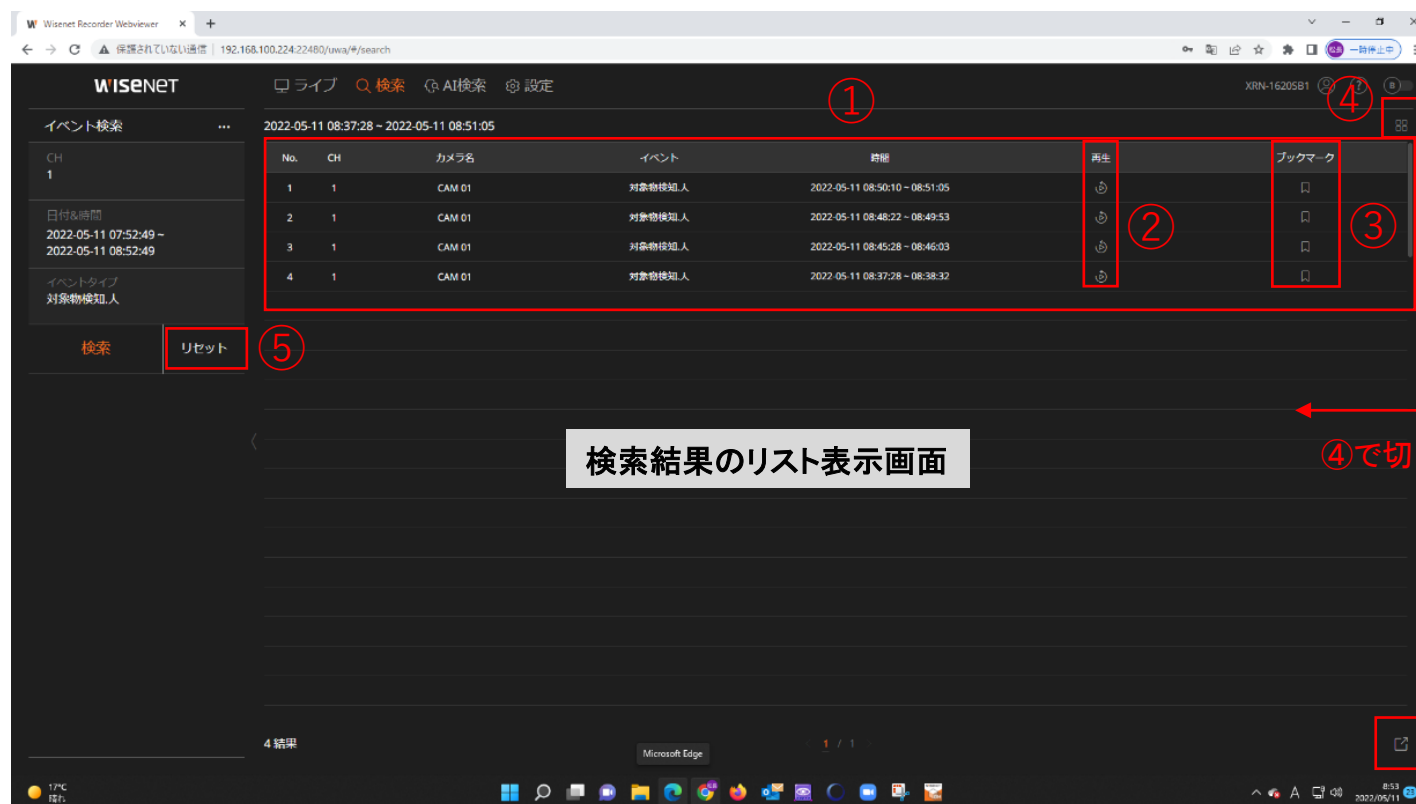
①チャンネル番号/日付&時間/イベントタイプを選択(チャンネル番号と日付&時間を選択しないと、検索できません)

③「検索」クリック後、イベントリストが表示されます

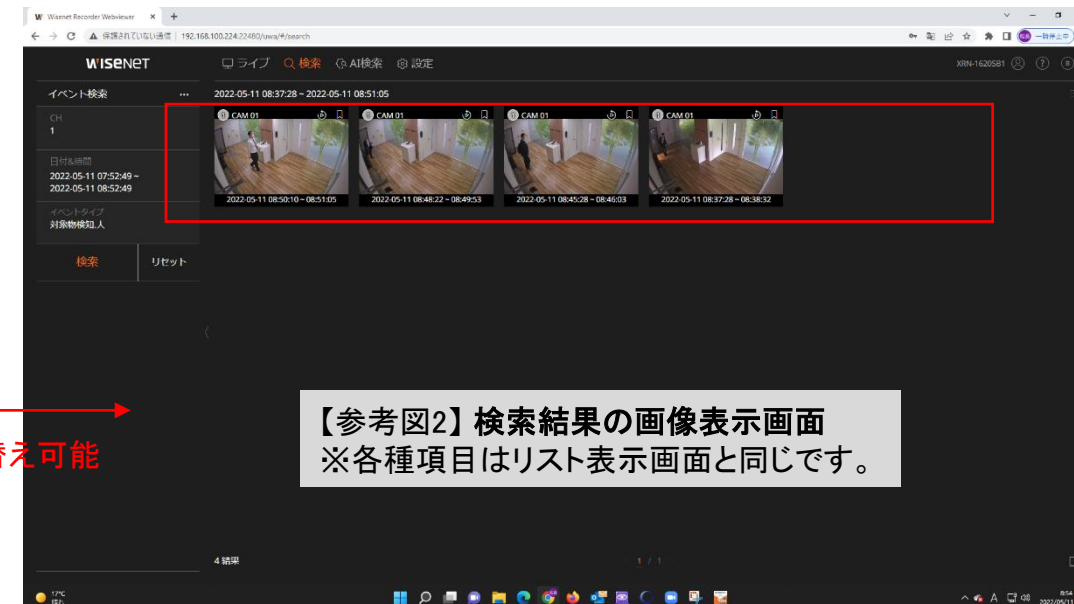
No.	CH	カメラ名	イベント	時間	再生	ブックマーク
1	1	CAM 01	対象物検知人	2022-05-11 08:50:10 ~ 08:51:05	🔄	🔖
2	1	CAM 01	対象物検知人	2022-05-11 08:48:22 ~ 08:49:53	🔄	🔖
3	1	CAM 01	対象物検知人	2022-05-11 08:45:28 ~ 08:46:03	🔄	🔖
4	1	CAM 01	対象物検知人	2022-05-11 08:37:28 ~ 08:38:32	🔄	🔖

※特定のイベントタイプのみを検索したい場合は、「イベントタイプ」を選択。選択なしでも検索可能。

3. 録画再生②ーイベント検索結果画面の主な項目について



検索結果のリスト表示画面



【参考図2】 検索結果の画像表示画面
※各種項目はリスト表示画面と同じです。

【参考図1】 該当イベントの再生ボタンをクリックすると、再生画面がポップアップします



【イベント検索結果画面】

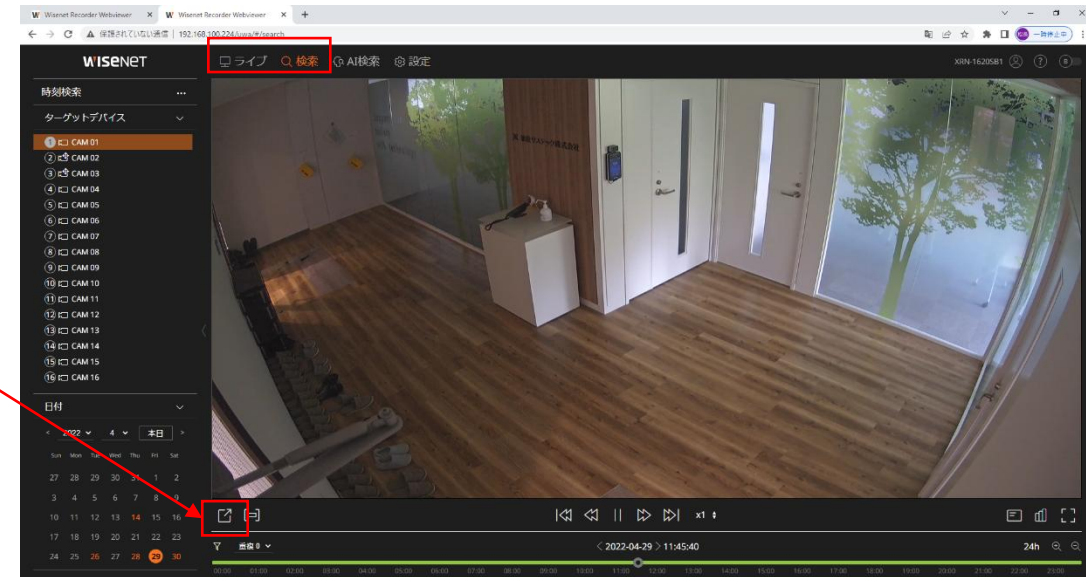
- ① イベント検索結果一覧
- ② 該当のイベントを再生します※参考図1
- ③ 該当のイベントをブックマーク保存します
- ④ リスト表示と画像表示を切り替えます※参考図2
- ⑤ 検索条件をリセットします
- ⑥ エクスポートボタン: 検索結果のイベントをピックアップしてバックアップできます

【参考図1 再生画面】

- ⑦ 該当イベントを再生します
- ⑧ 該当イベントをブックマーク保存します
- ⑨ 再生画面を閉じます

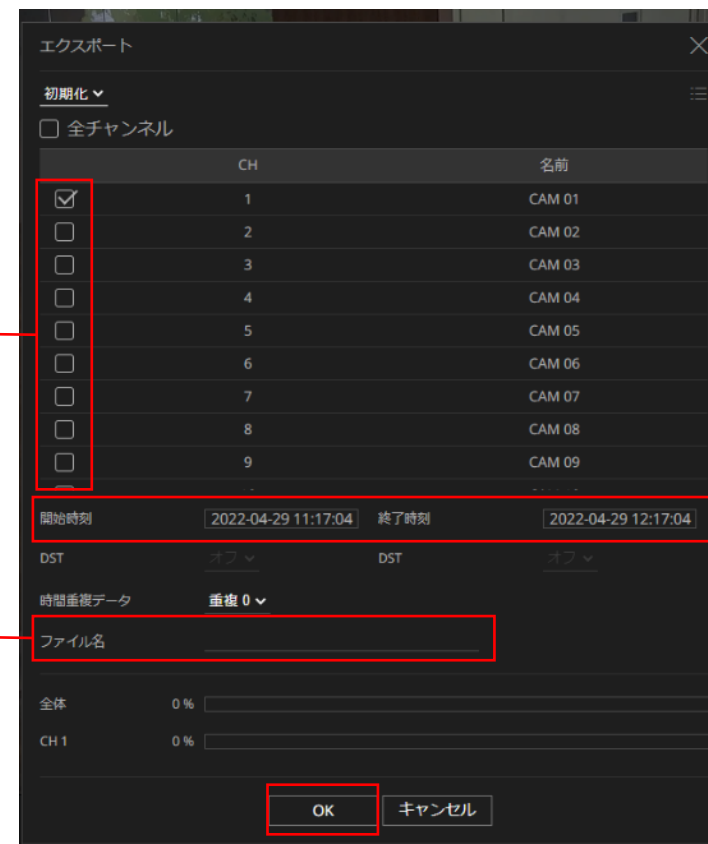
4. バックアップ方法 ①通常バックアップ1

1. ライブ画面または、検索画面にて、エクスポートボタンを選択します
(右図は検索画面)



2. ①バックアップを取るチャンネルを選択します(複数選択可)
②バックアップを取る期間を設定します。
③ファイル名を入力し、OKを押します。

①保存したいカメラ番号を選択

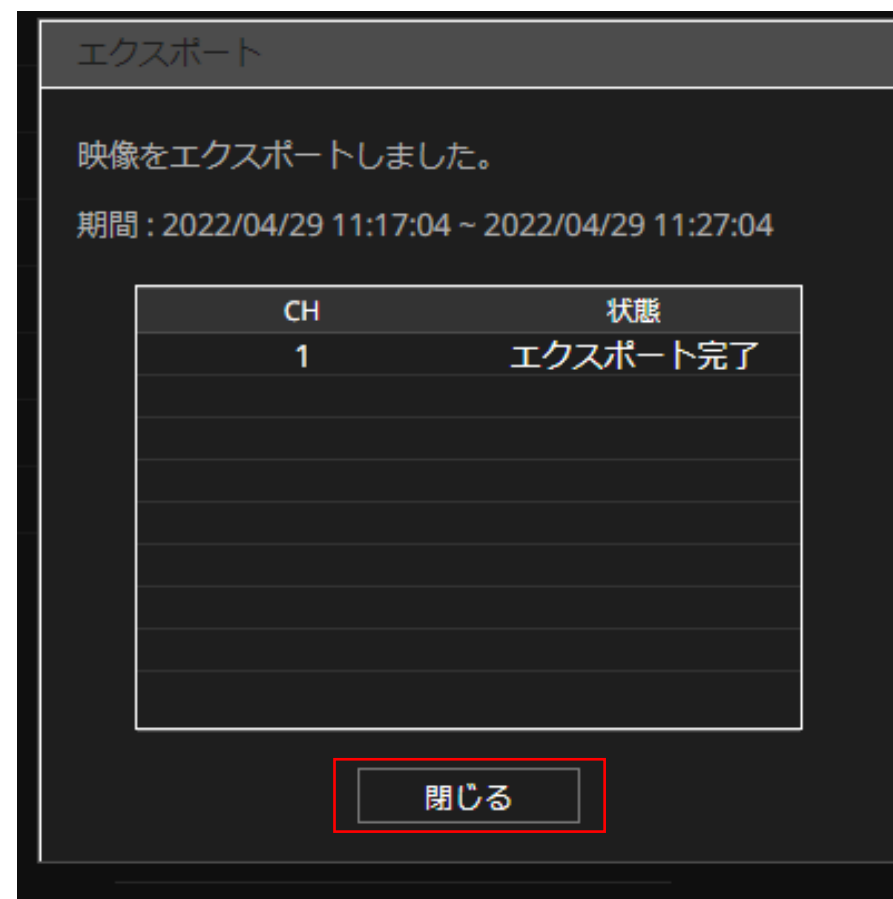


②保存開始日時と終了日時を選択

③ファイル名を入力(任意)

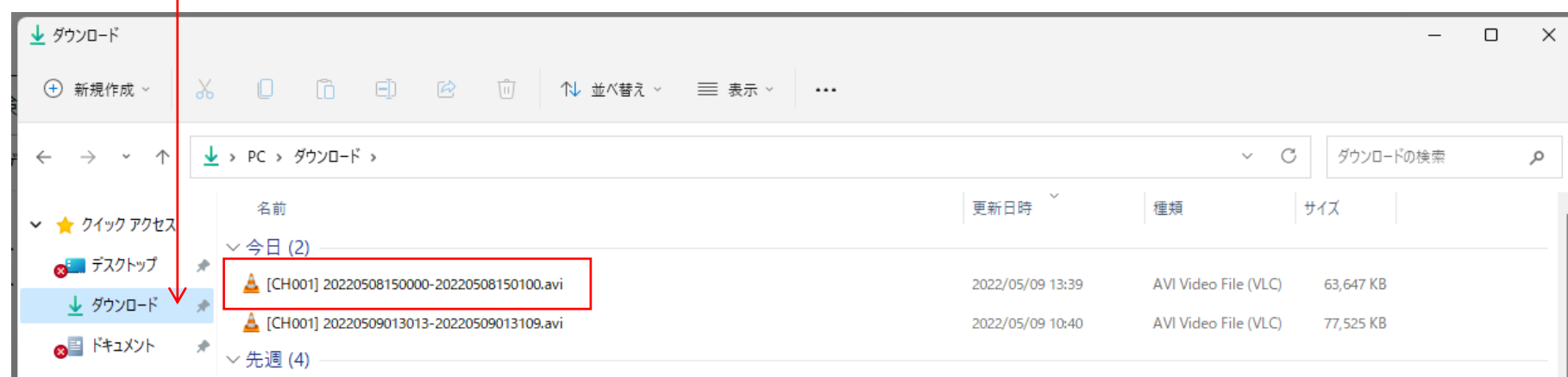
4. バックアップ方法 ①通常バックアップ2

3. エクスポートが終了したら、完了画面がポップアップしますので、OK/閉じるを選択します。



4. エクスポートした映像は、デフォルトでPCのダウンロードフォルダに保存されます。

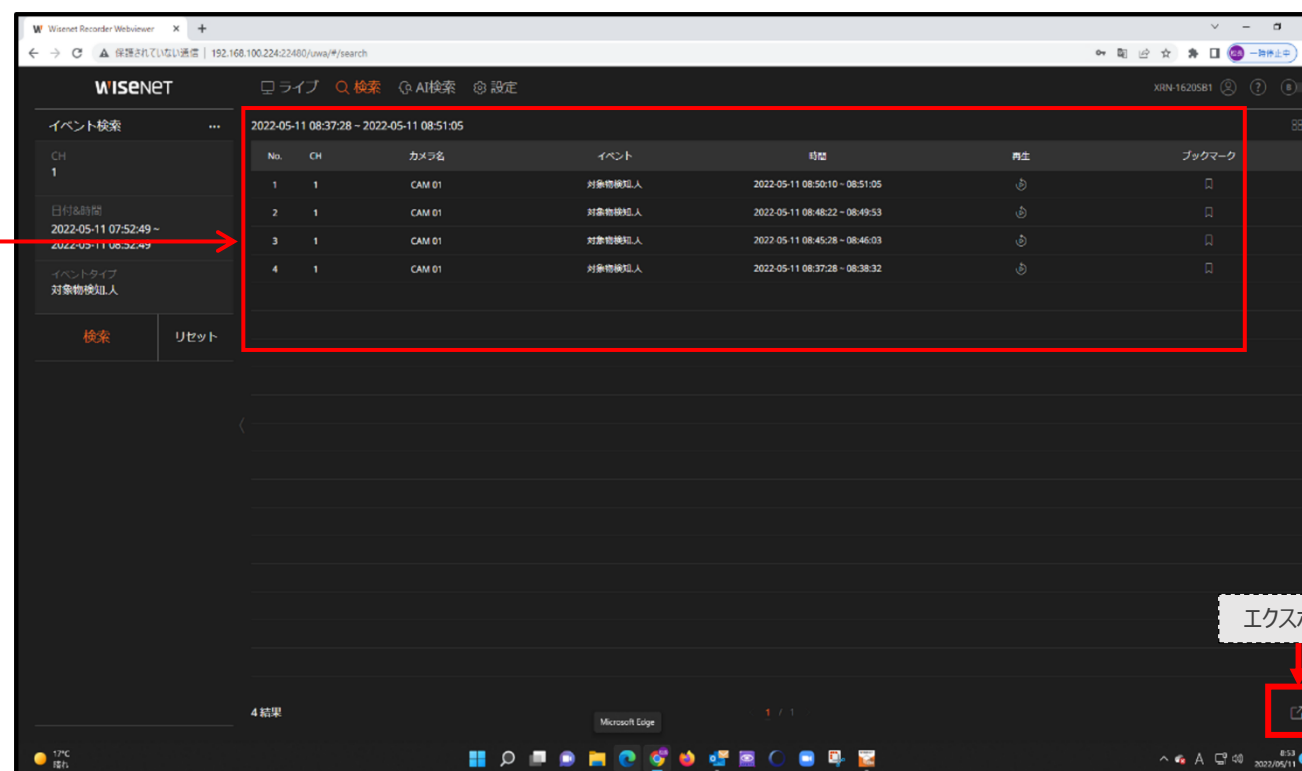
※お客様ご自身のWebブラウザの設定で「ダウンロードする前に各ファイルの保存先を確認する」を選択されていますと、エクスポート完了時にブラウザから保存先を訊かれますので、任意の保存先を指定してください。



4. バックアップ方法 ② イベント映像のバックアップ

※通常バックアップのほか、イベント時の映像のみを指定してエクスポートすることができます。

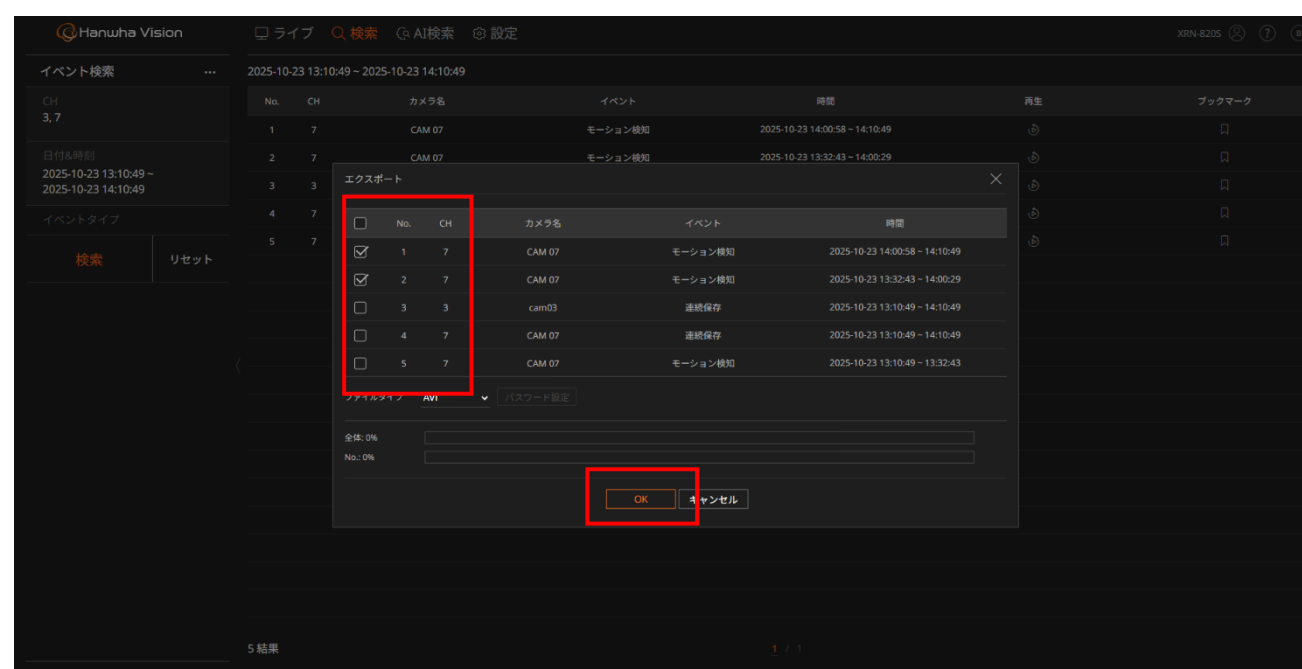
1. 8pの手順でイベント検索画面へ移動し、イベントリストを出します。



2. 画面右下のエクスポートボタンをクリックします。

エクスポート

3. エクスポート画面がポップアップしますので、バックアップしたいイベントにを入れ、OKをクリックで、エクスポートを開始します。

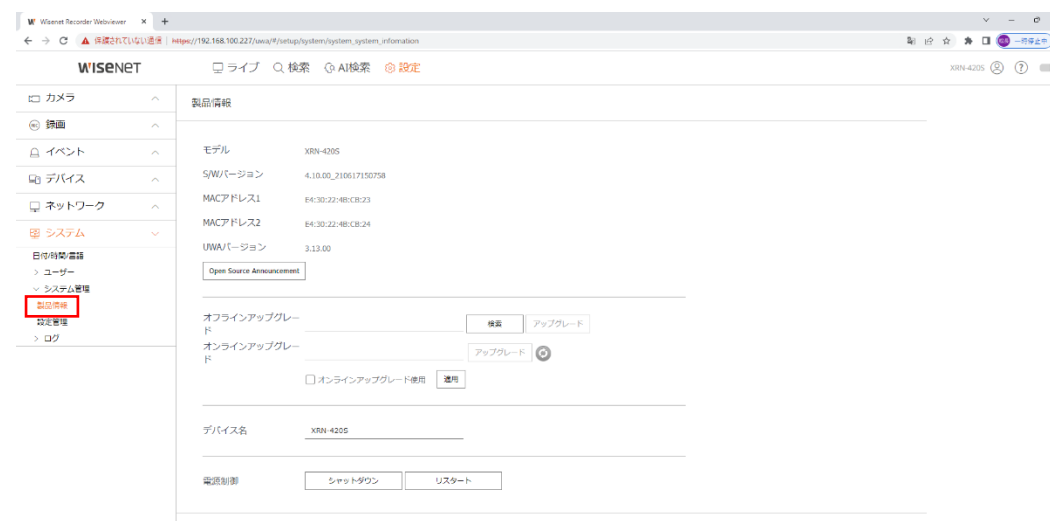


5. 再起動・シャットダウン①

1. 設定画面へ移動します。



2. システム>システム管理>製品情報の順に選択します。

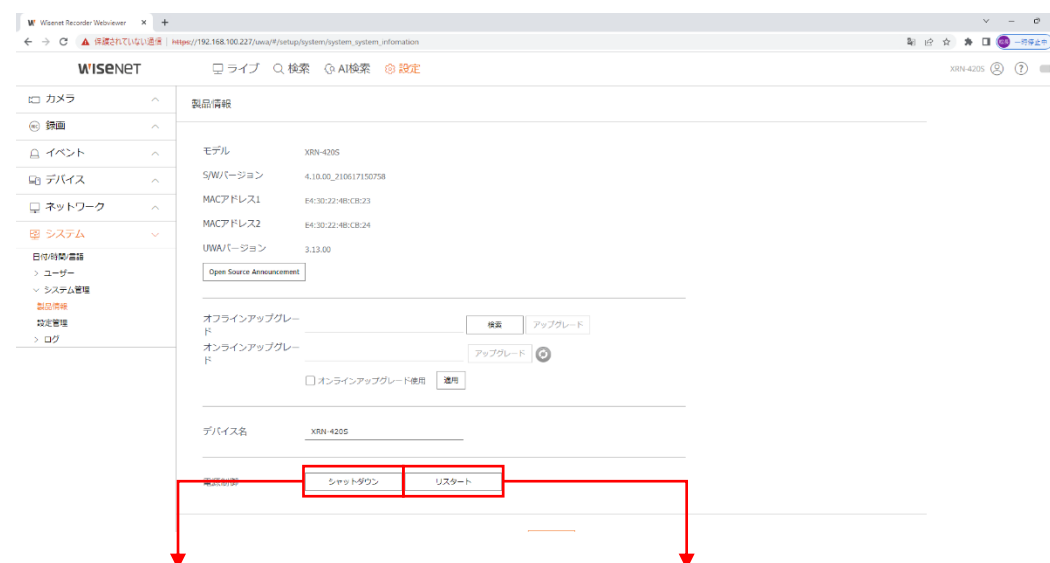


3. レコーダー本体のシャットダウンを行う場合はシャットダウンを、本体の再起動を行う場合はリスタートをクリックします。

<<注意>>

シャットダウンを行う場合、ウェブブラウザ側でシャットダウン操作を行った後に本体側で電源コードを抜く必要があります。

また、シャットダウン後、再び起動する場合、レコーダー本体に電源コードを接続する必要があります。本体に電源が入っていない場合は、ウェブブラウザから起動操作を行うことはできません。

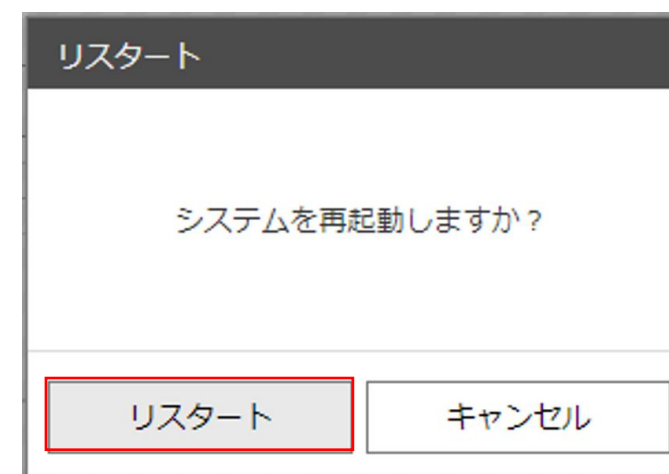


シャットダウンする場合はこちらを選択

再起動する場合はこちらを選択

5. 再起動・シャットダウン②

4. それぞれ確認画面がポップアップしますので、シャットダウンもしくはリスタート(再起動)を選択します。



5. シャットダウンを行った場合は、本体側で電源コードを抜きます。再起動を行った場合は、本体が再起動するまでしばらく待ちます。



兼松サステック株式会社

<https://cctv.ksustech.co.jp>

●簡易マニュアルはこちら



●FAQはこちら



操作のお問い合わせはこちら

KSUサポートコールセンター

 **0120-275-072**

24時間365日受付

※一部のIP電話からは繋がりませんのでご注意ください。

〈主な対応可能なお問い合わせ〉

・ライブ映像及び検索方法

・録画映像のバックアップ方法

・起動・シャットダウン方法